

2024年度業務実績報告書

提出日 2025年 1月 16日

1. 職名・氏名 教授・フロレス漆間 アンドレア百合

2. 学位 学位 人間環境学博士、専門分野 空間計画論、授与機関 京都大学、授与年 2008

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 京都精華大学・人間環境デザインプログラム 卒業研究実習 1・3（9）
②内容・ねらい この科目は、4年間の学びの集大成として卒業研究を行うことを目的としている。学生自らが社会課題を発見し、それを建築技術や創造力を通じて解決する提案を行う。現実社会の問題から課題を設定し、具体的かつ現実的な建築設計を行うと同時に、自らのテーマを見つけ、それを提案する能力を身につけることを目指す。提出方法は論文と建築設計が求められる。到達目標：問題設定と課題解決を通じて、建築や環境デザインに関する理解を深める。 学術的な知見を用いた論文作成およびデザイン提案の能力を磨く。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 卒業研究実習の運営においては、ゼミ形式の指導を中心に、副指導教員制度を活用して学際的な視点や専門的な助言を取り入れる仕組みを整えている。さらに、進捗管理と段階的評価を重視し、卒業論文中間報告会や卒業論文報告展を通じてフィードバックを受ける機会を提供している。これらの取り組みは成績評価に反映され、学生のモチベーション向上や論文の質の向上に寄与している。また、スケジュール管理や標準化されたフォーマット、明確な評価基準を設定することで、学生が計画的かつ効率的に研究を進められる枠組みを提供している。これにより、学生は論文作成における実践力を高めるとともに、卒業研究全体を主体的に進めることができるよう配慮されている。
(2)その他の教育活動
内容 University of Tennessee Knoxville, College of Architecture and Design, School of Interior Architecture IARC 495b – International Design このコースは、日本の京都および周辺地域でのフィールドワークを基盤とし、日常生活と文化の形成に焦点を当てている。学生は観察や分析を通じて、物質性と環境が人々の行動や儀式にどのような影響を与えるかを探求する。また、素材や光、自然といった環境的要素が日本文化の美学や日常の慣習にどのように組み込まれているかを理解することを目指す。このプロセスにおいて、学生は視覚的コミュニケーションやストーリーテリングのスキルを身に付け、文化がどのように視覚的に表現されるかを深く学ぶ。 このコースでは、フィールドワークとスタジオ活動を組み合わせることで、学生の学びを深める工夫がされている。現地活動としては、福井や京都を舞台にした文化体験や職人技術の観察（例：漆器や和紙制作、金属印刷アトリエ訪問）などが含まれ、素材や光、自然、日常実践を通じて日本の美的価値観を探求する。さらに、グループ行動や安全対策を徹底することで、異文化体験を安全かつ効果的に行う環境が整えられている。これにより、学生は文化的洞察を深めるとともに、フィールドワークで得た知識をスタジオでのプロジェクトに反映させることが期待されている。また、コース全体を通じてプロセスや時間管理、責任感を重視する工夫も取り入れられている。すべてのスケジュールされた活動への出席が義務付けられ、批評やフィードバックを重視した授業スタイルにより、学生の継続的な成長を促す。さらに、スタジオ環

境では整理整頓や共同作業のルールを重視し、プロフェッショナルな意識と協調性を育成する。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

Flores Urushima, A.Y. (2024) Urban Reconstruction in Japan. In: Architecture After War: A Reader, ed. Bohdan Kryzhanovsky. London: MACK/ CanActions, p. 83-119

【1 本】

②学術論文（査読あり）

Flores Urushima, A.Y. (2025 予定) Time-Space Scales Of Urban Ecology – Material Flow and Accumulation with the Study of Kitayama Cedar. 『JunCture 超域的日本文化研究』特集：「都市問題再考（仮）」第 16 号。名古屋大学大学院人文学研究科 超域文化社会センター

【1 本】

③その他論文（査読なし）

【 本】

④学会発表等

2024.06.05 Compétition locale pour l'accueil de l'Expo d'Osaka 1970. In: Colloque international franco-japonais: Métropoles et méga-événements L'aménagement urbain en France et au Japon. Organization: IFRJ-MFJ / Ambassade de France au Japon. Institut français de recherche sur le Japon à la Maison franco-japonaise (Tokyo)、招待講演

2024.12.02 Time-space scales of Urban Ecology: Material Flow and Accumulation between Rural-Urban Areas. In: Wacana Jiwa Setempat Merentasi Benua 2024 (Local People Across Continents). Faculty of Engineering and Built Environment, the National University of Malaysia, 招待講演

【2 件】

⑤その他の公表実績

2024.05.19 「地域間ネットワークのマッピング」。京都大学ポスターセッション「飛騨の自然と暮らしのシェア・市民交流会」。主催：京都大学「地域デザインのためのインクルーシブ・データプラットフォームの構築」プロジェクト。場所：飛騨市役所 大会議室、ポスタープレゼンテーション

2024.10.31 研究講話会「文化的移住の国境を超えた実践」。『コミュニティの維持をめぐるつながりと境界の動態に関する比較研究一人の移動・交渉・葛藤』同志社大学人文科学研究所。良心館 RY428、コメンテータ

2024.12.14 万博国際交流プログラムシンポジウム「ブラジルの環境から考える一持続的な世界のためわたしたちができること」。主催：福井県 場所：福井県国際交流会館 多目的ホール、ディスカサント 【3 本】

新聞やテレビ等への登場 2024.04. 教員紹介。大学広報誌「FPU NEWS」 2024.04 「福井市の都市計画の変遷：戦後の復興から未来へ」 FPU Seeds 2024.06.21 「米学生、伝統工芸触れる」 福井新聞 県民福井 2024.06.21 中日新聞 2024.08.30 コラム：都市地域計画のイノベーションと情報ロックインの挑戦。地域経済研究所 e メールマガジン VOL.236。福井県立大学地域経済研究所 2024. 09. 30 編集後記。地域経済研究所 e メールマガジン VOL.237。福井県立大学地域経済研究所
(2)科研費等の競争的資金獲得実績 2024.04.01- 2025.03.31 大学共同利用機関法人情報・システム研究機関『AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業』受託事業。代表者:徳地直子（京都大学）。機関：JST/ NII（National Institute of Informatics、国立情報学研究所） 2024.07 – 2028.07 科学研究費助成事業『ESGの世界的潮流は世界の食糧安全保障に危機をもたらすかーブラジルと日本の視座から』挑戦的研究（開拓）。PI: 石丸香苗（福井県立大学）。機関：日本学術振興会
(3)特許等取得
(4)学会活動等

5. 地域・社会貢献活動

2024.04.18 講演会「The voice of Yanomami people!」主催：京都精華大学人間環境デザインプログラム 登壇者：ダビ・コペナワ（ヤノマミ族 リーダー）。役割：実行委員会・委員

2024.06.01 9es Rencontres des chercheurs francophones du Kansai (RCFK 2024)。主催：Sciencescope。場所：Université de Kyōto Seika, Meizokan Hall, 京都。役割：実行委員会・委員

2024.06.20 UTK-FPU Workshop: Traditional Industries and Hospitality in Fukui. College of Architecture, University of Tennessee-Knoxville. 主催：福井県立大学地域経済研究所。場所：福井県立大学地域経済研究所 企業交流会議室、永平寺町。役割：実行委員会・委員

2024.10.25-12.10 Regional Revitalization, Internationalization and Traditional industries in Fukui Prefecture. Interactive Qualifying Project/ Project Based Education 主催：Worcester Polytechnic Institute. 役割：Sponsor

2024.11.29 第3回「グローバル地域研究セミナー」都市変革の新構想：日仏の視点から。主催：福井県立大学地域経済研究所。役割：コーディネーター

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

2024.05.17～福井県立大学。地域政策学部（仮）設置プロジェクトチーム。委員

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など